



フルインクルーシブ教育の

進捗状況について

政進会 森 英之

問 6月にフルインクルーシブ教育の「対話の場」が開かれましたが、印象的な市民の反応をお聞かせください。

答 (教育支援担当部長) ……6中学校区の6カ所のコミュニティセンターで行い、合計180名の参加がありました。前例のない取り組みへの不安の声がある一方で、これまでにない教育の変化に期待する声もありました。さらに、学校や教職員の努力だけでは難いため、地域・市民・保護者として応援したいと述べていただく方もいました。

フルインクルーシブ教育の情報をさらに発信してほしいなどの要望もありましたので「対話の場」の開催など、多くの方に知っていただけるよう取り組みたいと思います。

問 フルインクルーシブ教育を達成するための障壁は、現時点で、何だとお考えでしょうか。

答 (教育支援担当部長) ……障壁は現行の制度や一人一人の意識などで、特に「学校はこうあるべき」や「授業はこうあるべき」といった意識が障壁の一つになっていると考えています。今後に対話などを通して、多様性を前提とした子どもたちの学びのあり方について議論してまいります。

問 現場での負担が増加することも懸念されます。市としてどのようなサポート体制を構築するのか伺います。

答 (教育支援担当部長) ……不安などについて丁寧な話を聴き、説明していくことが大切です。「対話の場」などを通じて意識改革や環境面の改善を図ること、制度面や就学のあり方に関しては国や県へ働きかけることが必要だと考えており、できることから段階的に進めてまいります。

その他の質問

- ・業務における生成AIの活用について
- ・防災減算対策のDX化について
- ・学童保育と保育の質について



小中学校における熱中症対策・障がい者の移動支援制度の充実について

公明党 星 伸一

問 小中学校の熱中症対策として、今年から杉久保小学校にソラテナPROという気象観測機を試験的に設置しています。昨年からの試験的に設置しているウオータークーラーは、環境面の啓発の意味も含めて有用性はかなり高いと思いますが、今後の全校導入に向けた市の考えを伺います。

答 (教育部次長) ……ウオータークーラーについては、昨年度、今年度と1校ずつ試験的な設置を行い、有用性は一定程度あると認識しています。今後は費用対効果や維持管理面、衛生面などを検証し、また部活動でも活用できることから、まずは中学校への導入に向けて検討しています。

問 障がいのある方がヘルパーを利用して安心して外出が楽しめる、移動支援制度の充実を要望する声が福祉団体から上がっています。市の移動支援の現状について伺います。

答 (保健福祉部次長) ……重度障がいがある方などが自立支援給付における行動援護サービスに移行したため、利用実績は年々減少していますが、引き続き障がい特性に配慮して、個々に寄り添った福祉サービスの決定に努めます。

問 移動支援制度の開始以来18年間変わっていない報酬単価の引き上げが、障がいサービスの充実、事業所・ヘルパー不足解消への布石になると思いますが、近隣市の報酬単価と比較した状況を伺います。

答 (保健福祉部次長) ……近隣市とほぼ同等の単価です。

答 (市長) ……県央の4市とも移動支援事業の問題は共通しており、4市で足並みをそろえて、移動支援の報酬単価の引き上げについて十分調査をし、前向きに検討を行います。

その他の質問

- ・成年後見制度について



子宮頸がんワクチンについて

政進会 大塚 真樹

問 子宮頸がんの予防にはワクチン接種や定期検診による早期発見・早期治療が有効だと言われていますが、市の検診案内方法や助成があれば伺います。

答 (保健福祉部次長) ……市では、毎年6月から7月頃に子宮頸がん検診を含めたがん検診全般の案内を対象の方に送付しています。子宮頸がん検診については、集団検診は千円、個別検診は1700円の自己負担で受診でき、今後多くの方が検診を受けやすい環境整備に努めます。

問 学校教育では、保健体育でがん予防について学んでいると思いますが、現行の教科書ではどのような種類のがんについて教えることになっているのか伺います。

答 (教育支援担当部長) ……現行の教科書ではがんの種類として胃・肺・大腸・乳・肝臓がんが記載されていますが、来年度から中学校で使用する新しい教科書にはウイルスと関連があるがんとして子宮頸がんも記載されています。

問 子宮頸がんは女性の病気ですが、男性との接触で感染や発症も指摘されています。小学校6年生から高校1年生ぐらいまでが国の定める定期接種の対象者ですので、正確な知識が対象年齢の子どもたちの耳に入り、心に響く授業や指導をしてほしいと思いますが、教育現場では専門的な知識や指導ができる人などの活用があるのか伺います。

答 (教育支援担当部長) ……これまでも教諭や養護教諭だけでなく医師や保健師、学校薬剤師などと連携して授業を行ってきました。また県の事業において外部講師を活用した授業で話を聞くことができます。引き続き児童生徒にとって必要ながん予防策などのがん教育の推進を図ります。

その他の質問

- ・消防団と消防について
- ・南部地域の農地支援について

